公益財団法人　東京都歴史文化財団

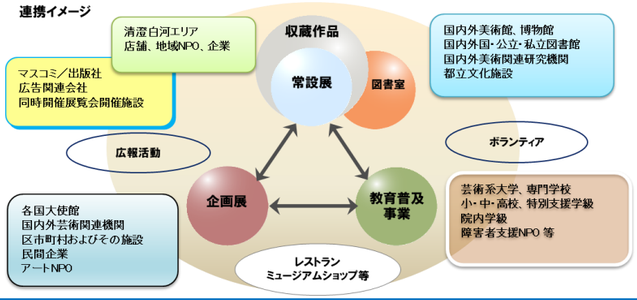
【東京都現代美術館】 指定管理者提案書類（事業計画書） 概要

1. 管理運営の基本方針

■基本方針
充実したコレクション、
多様なジャンルとの連携により
都市を支える創造性を育み、
最先端の現代美術を発信し続ける

■館の機能の総合的な発揮

館の各事業及び資源の連携を強化した、
Integrity（総合性・全体性）のある事業運営



■「『未来の東京』戦略ビジョン」
戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略　アートショーケースTOKYOプロジェクト

アートがまちの至る所に溢れる都市の実現
・これまでに培ってきた地域連携を基盤に国際的な視野で事業を展開して、ローカルとグローバルが並立した、海外から訪れる観光客にも魅力ある個性的で多様な芸術が溢れる都市の実現に向けた事業を展開

誰もが、いつでも、どこでも、芸術文化を楽しめる環境を整備
・多言語化・バリアフリーの推進
・5Gを活用した遠隔地と美術館を結ぶ鑑賞ツアーや来館が困難なこどもたちへのプログラム等の実施
・コレクションのオンライン上での公開

才能のあるアーティストの発掘・育成、文化の担い手の裾野を広げる
・若手アーティストを中心とした意欲的な展覧会を開催し、才能あるアーティストの育成に寄与
・毎日開催するコレクション展示室での解説ツアーを担うボランティアのガイドスタッフの継続的な育成

東京の社会課題の解決に貢献
・地域に国際的かつ祝祭的な場を創出するなど、地域経済振興への寄与
・高齢者が現代美術に親しむための新たなプログラムの展開

■国内外の施設等との連携の取組（ネットワーク化の推進）

海外	個展やグループ展、コレクション交換・巡回展の開催、調査協力、作品の相互借用等
国内	展覧会巡回、共同調査・企画、作品の相互借用
都内	美大との事業連携、若手作家の育成・発掘・支援、インターン受入、調査協力、作品の相互借用等
地域	清澄白河エリアを核として地元に密着した地域発信型連携プログラムの実施
財団内	パフォーマンス場所の提供、財団内連携による東京都コレクションの公開、トーキョーアーツアンドスペース、渋谷公園通りギャラリーとの連携

2. 事業に関する業務

■作品・資料の収集
・国内外で評価の確立した作家の他、次代を担う新しい作家の、新たなメディアを応用した作品や多様な視覚芸術作品などを収集

■作品・資料の分類整理、記録及び保管等
・貴重な財産である作品を良好な状態で次代へ引き継ぐ

■現代美術に関する情報提供
・蔵書国内最大規模の美術図書室を都民へ開放し、来館者が美術への理解を深めるための資料と場を提供
・「こどもとしょしつ」・メディアブースの運営等

■調査研究
・対象：作品、作家、マーケット、美術史、教育普及、美術館マネージメント等
・手段：学会等への参加、共同研究、財団及び館外研修等
・成果の還元：展覧会・教育普及事業、図録、研究紀要等、館活動への還元と大学での講義、美術賞の審査等社会への還元

■展覧会
①常設展：コレクションを活用した現代美術の変遷の体系的な展示と多角的なテーマによる多様性の提示。
解説パネルやボランティアによる解説を実施
②企画展：
・同時代の社会や現代美術の世界的動向を踏まえた展示
・建築やファッションなど幅広いテーマやジャンルから選んだ多様なラインナップ

■教育普及活動
・「観客の主体的な関わりの尊重」「楽しさと感動の創出」を重視し、未就学児から小・中・高校生、教員、障害者、在留外国人等を対象に現代美術の普及と鑑賞者の裾野拡大

■その他の事業
・エントランスホールの貸出し：館のブランドイメージにマッチした催し物を誘致するユニークベニュー

■人材の育成
・新進作家：作品発表の場の提供、作品レビューの実施
・専門家：博物館実習、インターンシップの受入れ

■館の事業を支える仕組み
〇広報：館のブランドイメージの向上、多彩なメディアによる情報発信、海外への積極的な広報を実施

〇年間パスポート：特別なデザイン、お得感

〇ボランティア（ガイドスタッフ、ワークショップ・アシスタント）：主体的な活動機会の提供、サポーター・愛好者の獲得、来館者との直接の交流を通してニーズを把握し事業へ反映

〇外部意見等：専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映

〇ニーズの把握：顧客満足度調査・非利用者調査の実施

〇外部資金の導入：共催による事業規模の拡充、公的助成金、スポンサーによる協賛・協力

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間
・混雑時期等は開館時間を延長するなど弾力的に対応
・ゴールデンウィークやお正月等に臨時開館

■館内サービス
・バリアフリー：サイン計画の刷新
・外国人対応：多言語表記、音声ガイド、決済手段の多様化
・親しみやすい展示や発信方法による新規顧客開拓
・ミュージアムショップ・カフェ・レストランの運営
・ホスピタリティをもった、スタッフの顔の見えるサービス
・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

■施設及び付帯設備貸出し
・講堂、研修室、エントランスホールの有効活用、積極的な撮影利用への施設提供により、収益を確保

4. 組織及び人材

・現代美術に関する専門的かつ広範な知識、多くの実務経験を有する職員を配置
・文化の創造・発信をリードして行く気概を持った職員の育成、組織風土の醸成
・各種研修により専門能力、事務処理能力、経営上のバランス感覚の向上を支援

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理
〇施設等の管理業務：これまでのノウハウや経験をフル活用し、効率的、効果的な維持管理に努める

〇危機管理：災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る
・お客様の安全確保：危機管理マニュアルに基づく対応、感染症の拡大防止についても適切に実施、水害対策
・展示品・収蔵品：安全な展示・収蔵、盗難対策
・大規模災害発生時：都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組
・東京アートブックフェアの拡大：地域と連携するイベントとして更なる展開
・旅行会社との協働による新たな観光ツアーの開発：地域との連携がなくては実現しない新たな観光ツアーを提供